

ママのビタミン

第43回

抗菌薬はかぜを治す薬ではありません!

AMR臨床リファレンスセンター(厚生労働省委託事業)が、全国の20~59歳の小学生未満(0~5歳)の子どもの親を対象にインターネット調査を2023年6月に行いました。

その結果の中で、①: **余った抗菌薬を取っておいたことがある。**という人は半数近くいることが判明。そのうち、6割以上が別の機会に子どもに服用させていた。また、7割近くの人が、②: **「抗菌薬はウイルスをやっつける」と誤った認識をしている。**ということでした。みなさんはいかがでしょう?

ええー!
知らなかったわ!



◎抗菌薬は最後まで飲みきる

①については、余った解熱鎮痛剤を保管しておいて、また熱が出たときに飲ませると同じ考え方では、と予想します。しかし、抗菌薬は解熱鎮痛剤とは全く違う薬です。抗菌薬は処方された薬を飲みきることが原則で、たとえ症状が治まっても、菌を最後までやっつけるために飲みきります。そのため、余ることはありません。余っている抗菌薬を別の機会に飲ませることはしないでください。抗菌薬も種類が沢山あり、病原菌によって薬が変わります。今出ている症状が、前の症状の病原菌と同じとは限りません。そして、中途半端な抗菌薬の服用は、菌を鍛えることになってしまい抗菌薬が効かない「薬剤耐性菌」を増やすことに繋がります。また、不必要な抗菌薬は、健康にバランスを保っている菌(常在菌)もやっつけてしまい、健康を崩すこともあります。

だめよ!
これは全部のんで



もう治ったから
おくすりいらない!

◎抗菌薬はウイルスには効かない!

②については、抗菌薬は菌をやっつける薬で、ウイルスには効きません。一般的なかぜはウイルスが原因ですので、抗菌薬をのんでもかぜは早く治りません。また、抗菌薬はかぜやインフルエンザの熱を下げる効果やのどの痛みを無くす効果はありません。ウイルスには抗ウイルス薬やワクチンがあります。

目に見えないけれど、菌とウイルスは全く別ものです。菌は単細胞の生物で、自分で増えることができます。ウイルスは、単独では生きられず、自分で増えることもできません。生物の細胞の中に入り依存して増えます。仕組みが全く違うので、薬も違うのです。薬について不明なことは薬剤師にお尋ねください。

抗菌薬って何?



薬のギモン・質問は、お近くの薬局 もしくは、ぎふ薬事情報センターまで ☎058-247-5122

協力/ 岐阜県薬剤師会 〒500-8146 岐阜市九重町4-5 <http://www.gifuyaku.or.jp>

岐阜県薬剤師会

検索